

# 「短時間労働者の多様な実態に関する調査」結果

—無期パートの雇用管理の現状はどうなっているのか—

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training







「短時間労働者の多様な実態に関する調査」結果  
—無期パートの雇用管理の現状はどうなっているのか—



## ま え が き

正社員とパートタイム労働者の両方を雇用している事業所の約半数で、期間の定めのない労働契約（無期労働契約）のパートタイム労働者を雇用している（厚生労働省「平成23年パートタイム労働者総合実態調査（事業所調査）」など、無期労働契約で雇用されるパートタイム労働者が、広く活用されている実態がある。

しかしながら、無期労働契約の短時間労働者が、どのような雇用管理をなされているのか、また、短時間労働者の働き方や処遇に対する考え方は、無期労働契約と有期労働契約で、どう異なるかといった基礎的なデータは乏しいのが現状である。

2012年8月に成立した「労働契約法の一部を改正する法律」により、有期労働契約が反復更新され、通算5年を超える場合の無期労働契約への転換の仕組みが、本年4月から導入されることとなった。短時間労働者の雇用管理が、今後どのように変容するかを見極めるためにも、現状の様相を把握することは重要であろう。

そこで本調査では、短時間労働者のとりわけ無期労働契約と有期労働契約の違いに焦点を当て、事業所の雇用管理の実態や、そこで雇用されている短時間労働者の属性や仕事・処遇の受け止め方といった基礎的な現状を把握した。本調査の結果が、今後の労働政策をはじめ、短時間労働者の雇用管理のあり方を検討する上での参考に資すれば幸いである。調査の実施に当たりご協力いただいた、多くの事業所・短時間労働者の方々に厚く御礼申し上げたい。

2013年5月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野 和夫

担当者

荻野 登 調査・解析部部长

渡辺 木綿子 調査・解析部主任調査員補佐（執筆）

## 目 次

<b>第 1 章 調査の概要</b> .....	1
第 1 節 調査の趣旨 .....	1
第 2 節 調査の方法 .....	1
<b>第 2 章 調査結果の概要</b> .....	2
第 1 節 短時間労働者を雇用する事業所に対する調査結果 .....	2
1. 有効回答事業所の主な属性 .....	2
(1) 業種 .....	2
(2) 常用労働者規模 .....	2
2. 正社員・非正社員の雇用状況 .....	3
3. 多様な短時間労働者の活用状況 .....	5
(1) 一般パートの雇用理由 .....	5
(2) 正社員の労働時間と比較した割合別パートの雇用状況 .....	5
(3) 無期・有期パートの雇用状況 .....	6
4. 無期・有期パートの契約の実態 .....	7
(1) 無期パートについて契約期間を定めていない理由 .....	7
(2) 有期パートの契約期間と平均更新回数 .....	8
(3) 有期パートの契約更新の考え方と主な契約更新手続き .....	8
(4) 有期パートにおける勤続 3 年及び 5 年以上の割合 .....	9
(5) 有期パートの雇用年限の設定状況 .....	10
(6) 中長期の雇用を予定する有期パートを無期契約へ移行させて いない理由 .....	10
(7) 無期・有期パートの平均・最長勤続年数 .....	11
5. 無期・有期パートの就業状況 .....	12
(1) 1 日当たりの平均・最長所定労働時間数 .....	12
(2) 1 週間当たりの平均・最長所定労働時間数 .....	13
(3) 残業の有無と 1 週間当たりの平均残業時間数 .....	14
(4) 割増賃金の支給状況 .....	14
(5) 任せている業務の種類 .....	15
(6) 正社員との職務や人材活用の異同 .....	16
6. 無期・有期パートの処遇の状況 .....	19
(1) 賃金の支払形態 .....	19
(2) 時間換算の賃金水準及び正社員の基本賃金と比較した割合 .....	20
(3) 賃金を決定する上で勘案している要素 .....	22
(4) 昇給、賞与、退職金の有無 .....	22



(5) 教育訓練	2 3
(6) 正社員転換措置の実施状況	2 4
7. 正社員と一般パート全般に対する各種制度の適用状況	2 5
(1) 就業規則の適用状況	2 5
(2) 各種処遇制度の有無と一般パートへの適用状況	2 6
(3) 家族手当の支給条件	2 7
(4) 職務、職能等資格制度の具体的内容	2 8
(5) 正社員と一般パート全般の基本賃金決定時の勘案要素	2 9
第2節 短時間労働者に対する調査結果	3 0
1. 有効回答労働者の主な属性	3 0
(1) 性別と年齢	3 0
(2) 婚姻状況	3 1
(3) 最終学歴	3 1
(4) 生活環境	3 1
(5) 世帯の収入源と年収水準	3 2
(6) 自身の年収水準と自身が働くことを辞めた場合の家計への影響	3 3
(7) 就業調整の状況	3 4
2. これまでのキャリア	3 6
(1) 転職経験と経験したことのある就業形態	3 6
(2) 前職の勤続期間と辞め方・理由	3 7
(3) 副業の状況	3 9
3. 現在の会社における契約・就労状況	4 0
(1) 短時間労働者という働き方を選んだ理由	4 0
(2) 契約期間の定めと更新状況、勤続期間	4 1
(3) 雇入れ・更新時における労働条件の明示状況	4 2
(4) 1日・1週間当たりの勤務状況	4 2
(5) 賃金の支払形態と採用時・現在で比較した賃金水準の変化	4 4
(6) 賞与の支給状況	4 7
4. 仕事の状況	4 8
(1) 現在の職種と従事している業務	4 8
(2) 役職の状況	4 9
(3) 正社員と比較した仕事や人材活用の異同状況と、同じ仕事をして いる正社員像	5 0
(4) 同じ仕事をしている正社員と比較した賃金水準の納得性	5 2
(5) 正社員より賃金水準が低い理由	5 4

(6) 賃金以外の処遇等で仕事と同じ正社員と取り扱いが異なっており 納得できないもの	5 5
(7) 処遇に係る説明を求めた経験	5 7
5. 仕事に対する満足度と今後の働き方に対する考え方	5 8
(1) 現在の仕事や会社に対する満足度と理由	5 8
(2) 不満（あるいは不安）を事業主や人事担当者等に相談した経験	6 0
(3) 今後の働き方に対する考え方と正社員になりたい理由	6 1
(4) 正社員採用・転換への応募等経験	6 2
(5) 正社員として希望する働き方	6 4
6. 教育訓練や自主的な能力開発への取組状況	6 4
(1) 現在の会社で受けた教育訓練	6 4
(2) 短時間労働者としてこれまでに受けた教育訓練	6 5
(3) 能力開発に対する自主的な取組状況	6 6
<b>第3章 調査結果についての考察</b>	<b>6 8</b>
第1節 無期・有期パートの雇用管理はどう異なるのか	6 8
第2節 無期・有期パートの働き方や処遇に対する考え方に違いはあるか	7 2
第3節 無期パートの満足度はなぜ、有期パートより高いのか	7 5
第4節 政策的インプリケーション	7 8
<b>付属資料</b>	<b>7 9</b>
① 調査票	7 9
② 付属統計表	9 7

